

10月18日・19日中部ブロック「保護司のための SST 研修」

会 場 ホテルサンルート プラザ名古屋

講 師 吉田 みゆき氏 (SST 普及協会認定講師)

林 史学氏 大橋 悦子氏 中村 雅代氏

参加者 29名 (富山3名・金沢3名・福井3名・岐阜4名・名古屋13名・津3名)

【第1日目 午後1時から5時まで】

吉田みゆき講師による講義「SSTとは何か」から始まりました。

研修用テキスト「生きる力をつける支援のために 保護司面接のためのSSTマニュアル」(前田ケイ著)を使用して、SSTの基本について説明がありました。通常、私たちは言葉でアドバイスをして支援していますが、SSTは実際に対象者と一緒に行動練習をして支援する方法です。

SSTのやり方である**基本訓練モデル**を学びます。林講師・中村講師によるデモンストレーションを観察して練習の順序を理解していきます。

練習の順序

- 1 練習する課題を決める
- 2 場面を作って1回目の練習をする
- 3 よいところをほめる
- 4 さらによくする点を考える
- 5 必要ならばお手本を見る
- 6 もう一度練習する
- 7 よいところをほめる
- 8 チャレンジしてみる課題を決める (宿題)
- 9 実際の場面で実行してみる
- 10 次回に結果を報告する

(吉田みゆき講師作成資料より)

グループに分かれて自己紹介をした後、よいところをほめる練習をしました。ほめられると自然と皆笑顔になります。





「グループSST」の体験もしました。
順番にリーダー、コリーダーとなって、基本訓練モデル
を演習しました。

【第2日目 午前9時から午後4時まで】

じゃんけんゲームなどでウォーミングアップをして頭と体をほぐしてから研修開始です。
グループに分かれ、保護司、保護観察対象者の役となって「ひとりSST」を全員が体験しました。



Aグループ（林講師）



Bグループ（中村講師）



Cグループ（大橋講師）



コインを使って人間関係を表わすコインマップも体験しました。
誰をどのコイン（価値）にし、どのような順序で、どの程度の
距離をとって、どうおいていくのか（迷わず、迷いながらなど）
に注意を向ける、途中で自分の意見を言わない、出来上がったマ
ップについて、本人の感想を聞き、変えたいところがあるか確認
し、それを一緒に取り組むための目標へつなげていくなどの説明
がありました。

このコインマップは、「コインマップをすることで、保護司と対象者との距離を縮めてくれそう。
本人をぜひやってみよう。」と、参加者に大変好評でした。

吉田講師から「いつもの面接にちょっとだけSSTをプラスしてみましよう。」とのアドバイスを
受け、「SSTをやってみよう」という意欲へ繋がる研修となりました。